

日程および行程 ———— バス ———— 船 ———— 新幹線

Table with 3 columns: 月日 (Date), 行 (Destination/Activity), 程 (Schedule/Time). It details the itinerary for the school trip from Dec 2 to Dec 7, including destinations like Kyushu, Osaka, Nara, and Kyoto.

公害問題を学習

熊本県立第二高校修学旅行

特集 三

琵琶湖汚染を視察

比叡山では精神面を学ぶ

よりよい修学旅行を求めて、この数年全面的に修学旅行の形態が問われ、それぞれの学校で、また県単位で、文字通り学を修めることも、中・高生活における重要な行事としての研究と実践が行われてきた。熊本県立第二高等学校(校長矢野正史氏)の一年生(四七八名)の修学旅行は、去る去年十一月十七日(五泊六日)関西を中心とする旅行の中で、脚を滋賀県まで伸ばし琵琶湖における「公害対策問題」と「比叡山延暦寺の法話」で精神面の修養をし生徒に多大の感銘を与えた。意義ある修学旅行は、滋賀県修学旅行誘致促進協議会代表幹事今井玄氏によって当協会に紹介され、全修旅・熊本県支部長村正史氏を介して熊本県・高から報告が送られてきたので紹介する。

一、琵琶湖
本校は、熊本市の東部に位置し生徒数 四六五名(男子一〇三〇名、女子四三二名)で、来年度に創立一〇周年を迎える新設校である。

修学旅行は、昭和四二年度から一年生で実施することになり、現在に至っている。時期については、従来三月に行われていたが、学校行事等の関係で、昨年度(昭和五十五年)より、十月上旬に実施することとした。目的地については、昭和五〇年度より、奈良・京都等関西方面に実施している。

二、計画、準備について
さて、今年度の修学旅行について、一年担任では、目的地、時期ともに従来通り実施することとし、四月から計画準備を行ってきた。ただ、今年度の新しい試みとしては、奈良・京都の古い文化遺産に接するだけでなく、未来に

も視野を向けよう。その一として協議の結果、大津市で「公害問題」を学習することにした。

一、公害問題とは、昭和五十四年十月十六日、近畿地方の命の水ともいえる琵琶湖の水を、これ以上の汚染を防ぐため、リンを含む家庭用合成洗剤の追放と、事業所等でのリン・窒素の排水基準の設定を柱とした「琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例案」を議会で可決成立させ、その後、水質保全のための県民総ぐるみの努力が行われていくと聞いていた。そこで琵琶湖の美しい水を守ろうとして、滋賀県の努力をぜひ現地でも学習したい。そして熊本にも琵琶湖と同じく、琵琶湖の美しい水を守ろうとして、滋賀県の努力をぜひ現地でも学習したい。そして熊本にも琵琶湖と同じく、琵琶湖の美しい水を守ろうとして、滋賀県の努力をぜひ現地でも学習したい。

感想にみる
琵琶湖では実際に湖上を船でまわった。その後、琵琶湖の湖上視察もなかなか楽しかった。その後の琵琶湖館での琵琶湖汚染の映画もわかりやすく作られており、汚染の深刻さを痛感させられた。

現地学習
琵琶湖では実際に湖上を船でまわった。その後、琵琶湖の湖上視察もなかなか楽しかった。その後の琵琶湖館での琵琶湖汚染の映画もわかりやすく作られており、汚染の深刻さを痛感させられた。

感想にみる
琵琶湖では実際に湖上を船でまわった。その後、琵琶湖の湖上視察もなかなか楽しかった。その後の琵琶湖館での琵琶湖汚染の映画もわかりやすく作られており、汚染の深刻さを痛感させられた。

現地学習
琵琶湖では実際に湖上を船でまわった。その後、琵琶湖の湖上視察もなかなか楽しかった。その後の琵琶湖館での琵琶湖汚染の映画もわかりやすく作られており、汚染の深刻さを痛感させられた。

修学旅行の新しい宿泊地

三重県立水郷自然公園
グラン・スパ
長島温泉

三重県桑名郡長島町
電話 05944-2-1141

思い出の修学旅行
印象的な
瀬戸内海の船旅。

● 阪神/別府直航・大型フェリー(毎日1便)
● 阪神/別府航路(毎日2便)
● 阪神/小豆島・高松便(毎日1便)
● 東神戸/日向(宮崎)フェリー(隔日1便)

★ 貨切船「こはく丸」もご利用下さい。

関西汽船

大阪市北区梅田1-1 TEL(06)344-7031
東京都中央区八重洲1-4-14 TEL(03)274-4273
及び、各地支店駐在員、旅行代理店へ

いらっしやいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ

収容 600名様
浴場 150名様
設備 全館冷暖房
防炎 諸設備完備
駐車場 ミス20台

政府登録
国際観光旅館 **びわ湖リゾートホテル**
大津市におの浜3丁目2-25 電話 大津(0775)24-2321

高原の四季・静かな憩い

「女神湖ホテル」から霧ヶ峰をぬけて旧中仙道で山を下りた。木曾もいっが、山を下って追分までの中仙道の宿場の風情はわざとらしさが無くて、しかも世の中のことわりを感じさせるところが好きだ。

永六輔
「終りのない旅」より

女神湖ホテル

〒384-23 長野県北佐久郡立科町芦田
電話 02675-5-6006

案内所 東京:千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル 電話03-591-8844
大阪:北区小松原町2-4フコク生命 電話06-312-8988

